

樹木の成長を願いながら

会報

モンゴル

VOL 59 2012. 6. 22

●発行所 長野県モンゴル親善協会
長野市県町532-3



モンゴル共同森林会社・ナスカの皆さんの指導の下、新モンゴル高校の方々と植樹

多くの出会いがあった

第23次交流団

団長 中山 喜重

第23次交流団22名は、21日・22日に悪天候で飛行機が飛ばず、雪が降ったという情報の下、23日夕刻、雪もなく陽の光に迎えられ、ウランバートルの土を踏んだ。

今回の団の目的は植樹と交流。

26日の植樹では、新モンゴル高校の校長先生から歓迎の言葉、団長から団の目的とお礼の挨拶ををし、交流が始まった。

まず、生徒による歌と踊り、団からは小室節を女性による本歌、男性による源歌（小室節のふるさととはモンゴルと言われている）、着物姿で小諸音頭を踊り、最後は全員で「信濃の国」「ふるさと」を大合唱した。

生徒一人と団員二人をチームとして植樹し、活着し成長することを祈りつつ、丁寧に水やりし、すべての作業を終えた。

植樹をして、モンゴルで樹木を育てることの困難さがわかった。それは、土ではなく砂利であり、雨が少なく（年間降雨量約300ミリ）、人々に樹木を植えようという気がないこと（現在は国策で植樹を実施中）。

今回の植樹で、モンゴルの人々が樹木のあることが当たり前になるように、私たちの小さな行動でも積み重ねていけば、モンゴルの国土と人々の心の中に、緑の輪は広がっていくと思う。

今回の訪問ではたくさんのお会いがあった。新モンゴル高校の方々、植え付け指導と管理をしていただいたモンゴル共同森林会社・ナスカの方々、前駐日モンゴル国特命全権大使・シグジツド様、国立農業大学教授・宿泊先のホテルで話をした日本人、ガイドのトヤさん・ママルさん、そして殆どが初めての出会いだった22名の団員の皆様に心から感謝申し上げます。

第23次モンゴル国植林交流団
2012年5月23日(水)～28日(月)

■団長

中山 喜重

■団員

- 戸井田 学久 連合長野
- 小林 優 労働金庫
- 柳澤 善太郎 自治労長野
- 三村 光正 情報労連長野
- 北村 正一 情報労連長野
- 桜井 安恵 小諸市職労
- 寺島 守 小室節保存会
- 一之瀬 公 小室節保存会
- 一之瀬 安憲 一般
- 一之瀬 通 一般
- 伊藤 田鶴子 小室節保存会
- 堀 千鶴子 小室節保存会
- 上原 昌代 小室節保存会
- 小林 一義 一般
- 小林 栄一 一般
- 宮崎 あや子 一般
- 波田野 哲夫 一般
- 鈴木 保江 一般
- 勝山 千代枝 一般
- 高橋 八重子 一般
- 青木 敏子 一般

■日程

- 23日 成田空港発 ウランバートル泊。
- 24日 亀岩見学と遊牧民のゲル訪問。ツーリストキャンプ泊。
- 25日 チングリスハーン像・13世紀村見学。ウランバートル泊。
- 26日 新モンゴル高校で植樹と交流会。自然史博物館見学。ウランバートル泊。
- 27日 スフバートル広場・ガンダン寺見学。ウランバートル泊。
- 28日 帰国。成田空港へ。